

令和4年度 石巻市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和5年5月

石巻市（宮城県）

○計画期間:令和2年4月～令和7年3月(5年0月)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和4年度終了時点(令和5年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市は、令和2年3月に国の認定を受けた「石巻市中心市街地活性化基本計画」に基づき、目指す中心市街地の都市像である「石巻らしさを活かし、市民の誇りと石巻に暮らすことの豊かさを醸成できるまち」の実現に向け中心市街地の活性化に取り組んでいる。

令和4年度は、旧北上川河口部に平成28年度から復興事業として進めてきた「かわまち交流拠点施設整備事業」が完了した。完成が3月だったため、効果が表れるのは次年度以降となるが、すべてのかわまち交流拠点施設が供用開始をしたことで、更なる中心市街市の賑わい創出が期待される。また、新型コロナウイルス感染症の拡大に落ち着きが見られたことから、川沿いエリアを中心に音楽ライブや夜店などのイベントを開催し、交流人口の拡大につながった。このほか、立町エリアでは、がんばろう商店街事業として、令和4年12月15日から25日まで謎解きラリーと金華開運商店街スタンプラリーを開催したほか、昨年度に引き続き、令和5年1月14日から2月12日まで「石巻まちゼミ」を開催し、商店街の店舗を中心に19店舗が参加し26講座を開講したことで、回遊率の向上につながった。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(基準日：毎年度3月31日)

(中心市街地 区域)	令和元年度 (計画前年度)	令和2年度 (1年目)	令和3年度 (2年目)	令和4年度 (3年目)	令和5年度 (4年目)	令和6年度 (5年目)
人口	2,878	2,901	2,859	2,791		
人口増減数	6	23	△37	△68		
自然増減数	△42	△31	△28	△57		
社会増減数	50	54	△8	△8		
転入者数	69	80	52	37		

(2) 地価

地価公示(国土交通省)(基準日：令和5年1月1日)

	令和元年度 (計画前年度)	令和2年度 (1年目)	令和3年度 (2年目)	令和4年度 (3年目)	令和5年度 (4年目)	令和6年度 (5年目)
鑄銭場 57 番 7	76,000	75,800	75,500	75,200		

## 2. 令和4年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

当中心市街地活性化協議会では、中心市街地における活発なイベントの開催を支援し交流人口の拡大を図るため、令和3年度より「賑わい創出活性化助成金事業」を実施しており、令和4年度は、「川開きスペシャルライブ」や「石巻ふれあい朝市」などのイベント3件に助成支援し、交流人口の拡大に寄与することができた。

また、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の状況に落ち着きが見られたことから、石ノ森萬画館やいしのまき元気いちばなどの観光施設において積極的なイベントの開催等により、中心市街地への交流人口も回復が見られた。

今後は、石巻南浜津波復興記念公園とかわまちエリアとの連携強化による人の流れを立町エリアや駅前エリアに回遊させるため、街なかにおける積極的なイベント開催など、各事業を通じて回遊性向上を促し、更なる交流人口の拡大に向けて官民がより密接な連携を図りながら総合的かつ一体的に推進していきたい。

## II. 目標ごとのフォローアップ結果

### 1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
定住人口の増加	中心市街地における社会増減数(人)	-58 (H29~H30 平均)	+19 (R2~R6 平均)	+13 (R2~R4) (R5.3)	B	①	①
	【参考指標】 中心市街地における定住人口(人)	2,872 (H30)	3,006 (R6)	2,791 (R5.3)	C	①	①
交流人口の増加	2施設の利用者数 (人/年)	1,369,912 (H30)	1,469,603 (R6)	1,391,895 (R4)	B	①	①
	歩行者・自転車通行量	17,790 (H30)	19,748 (R6)	11,706 (R4.10)	C	①	①
	【参考指標】 中心市街地回遊率(%)	36.1 (H30)	45.0 (R6)	41.0 (R4.8)	B	①	①
市民活動参加者数の増加	市民交流施設4施設の利用者数 (人/年)	153,429 (H30)	182,315 (R6)	184,641 (R5.3)	A	①	①

< 基準値からの改善状況 >

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

<目標達成に関する見通しの分類>

①目標達成が見込まれる ②目標達成が見込まれない

※関連する事業等の進捗状況が順調でない場合はそれぞれ1、2とする。

## 2. 目標達成見通しの理由

### 目標①【定住人口の増加】

『中心市街地における社会増減数（人）』については、「定住促進住宅取得補助金」の効果もあり、目標値に近い水準となっていることから、目標は達成される見通しである。

一方、参考指標の『中心市街地における定住人口』については、住民の高齢化の影響もあり、自然減数が社会増数を上回る傾向に変化はないことから、転入者を増やすための定住促進施策の推進が引き続き肝要である。

### 目標②【交流人口の増加】

『2施設の利用者数』（石ノ森萬画館、いしのまき元気いちば）については、石ノ森萬画館の年間利用者数が「117, 138人」と目標値「218, 917」人に届かなかったものの、いしのまき元気いちばの年間利用者数が「1, 274, 757」人と目標値の「1, 250, 686」を上回ったことで、前年度と比較して順調に交流人口の増加が図られている。加えて、今後、新型コロナウイルス感染症の影響がなくなっていくことを踏まえると、目標は達成される見通しである

『歩行者・自転車通行量』については、令和4年度は、「11, 706」人と基準値を大きく下回る結果となった。要因として、立町商店街とかわまちエリアを繋ぐ「橋通り」地点がかわまち交流広場や下水道敷設工事の影響により歩行者が通行できない時期が重なったことが挙げられる。令和5年度以降は、復興工事の影響もなくなることから、かわまち交流広場を活用したイベントなどを実施することにより、目標達成も十分可能であると見込まれる。

参考指標の『中心市街地回遊率（%）』については、新型コロナウイルス感染症の拡大に落ち着きが見られたことも要因となり、基準値を超える数値となった。他方、この結果が一時的なものとならないために、今後もいしのまき元気いちば等の川沿いエリアを訪れる市民や観光客を立町エリアや駅前エリアに回遊させるための施策を検討し、実施していく必要がある。

### 目標③【市民活動参加者数の増加】

『市民交流施設4施設の利用者数』（石巻あいプラザ、旧観慶丸商店、かわまち交流センター、アイトピアホール）については、いしのまき元気いちばに隣接する「かわまち交流センター」の利用者が観光需要の回復を背景に前年度から37, 537人増加したことが寄与し、令和4年度の最新値が「184, 641」人となり、目標達成となった。更に、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた「石巻あいプラザ」の利用状況の回復も見込まれることから目標を達成する見通しである。

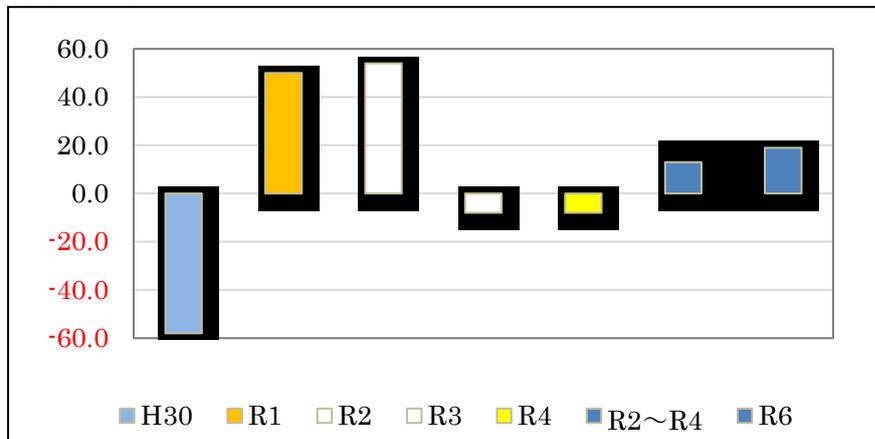
## 3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

なし

#### 4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1) 「中心市街地における社会増減数(人)」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 66～P. 67 参照

##### ●調査結果と分析



年	(単位)
H30	△58 (基準年値)
R1	+50
R2	+54
R3	△8
R4	△8
R2~R4	+13
R2~R6	+19 (目標値)

※調査方法：住民基本台帳

※調査月：毎年度3月末日

※調査主体：石巻市

※調査対象：中心市街地に居住する人数

##### 〈分析内容〉

令和4年度の社会増減数は8人の減少となり2年続けて微減となった。一方、中心市街地においては、複数の住宅供給事業が進展していることから、目標達成は十分達成可能と見込む。

##### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

###### ①. 優良建築物等整備事業（中央二丁目3番地区（A1地区））

事業実施期間	平成29年度～令和3年度【済】 [認定基本計画：平成29年度～令和3年度]
事業概要	まちなか居住の促進や被災者への早期住宅供給とともに、被災店舗の再生を図ることを目的に、店舗及び分譲住宅を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	復興交付金（優良建築物等整備事業・基幹事業）（国土交通省）（令和2年度～令和3年度） [認定基本計画：復興交付金（優良建築物等整備事業・基幹事業）（国土交通省）平成29年度～令和3年度]
事業目標値・最新値及び進捗状況	[事業目標値] 12戸 [最新値] 7戸（分譲住宅6戸，地権者住宅1戸） [進捗状況] 令和3年6月竣工。

事業の今後について	事業完了により定住人口の増加が図られた。
②. 地域優良賃貸住宅（高齢者型）供給促進事業	
事業実施期間	平成 29 年度～令和 12 年度【実施中】 [認定基本計画：平成 29 年度～令和 12 年度]
事業概要	民間活力を活用して建設された高齢者向け優良賃貸住宅の入居者の家賃負担軽減を図るため、家賃の減額に要する費用を補助し、高齢者に低廉で快適な住み良い住宅の提供を図る。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（地域住宅計画に基づく事業（公的賃貸住宅家賃低廉化事業）） （国土交通省）（令和2年度～令和6年度） [認定基本計画：社会資本整備総合交付金（地域住宅計画に基づく事業（公的賃貸住宅家賃低廉化事業））（国土交通省）（令和2年度～令和6年度）]
事業目標値・最新値及び進捗状況	[事業効果] 民間賃貸住宅を活用し、高齢者に配慮した良質な賃貸住宅を低廉な家賃で提供することにより、高齢者の居住安定を図る。 [進捗状況] 令和 4 年度末時点での入居戸数は 3 4 戸中 2 9 戸と入居率は高水準となっているが、高齢者向け賃貸住宅であることから身体の変化等による入退去の動きが大きい。
事業の今後について	平成 2 3 年度供用開始から 2 0 年間の家賃補助となるため、今後も事業を継続していく。
③. 住吉公園整備事業	
事業実施期間	平成 30 年度～令和 4 年度【終了】 [認定基本計画：平成 30 年度～令和 3 年度]
事業概要	河川堤防整備事業と合わせた再整備により、市民の憩いの場としての機能を回復するとともに、石巻市の地名の由来といわれる「巻石」を有する雄島を再生し、石巻の歴史や文化、川湊の面影を後世に伝える場としての再生を目指す。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	[事業効果] 整備が完了し、市民の憩いの場として当時のにぎわいが戻ることを期待する。 [進捗状況] 令和 4 年度整備完了
事業の今後について	

#### ④. 定住促進住宅取得補助金

事業実施期間	平成 29 年度～令和 12 年度【実施中】 [認定基本計画：平成 29 年度～令和 12 年度]
事業概要	中心市街地に転入し、住宅を建築または購入した方に対し、それに要した費用を助成することで、人口減少を抑制し、定住促進と地域活性化を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地に転入し、住宅を建築または購入した方に対し、それに要した費用を助成することで、人口減少を抑制し、定住促進と地域活性化を図るもの。
事業目標値・最新値及び進捗状況	[事業効果] 令和 4 年度の補助金交付実績は 5 4 件となり、令和 3 年度の 1 3 件と比較して大幅に増加しているため、当該事業による住宅取得への補助が、定住促進並びに地域活性化に寄与していると思われる。 [進捗状況] 昨年度の事業開始以降、本補助金の申請及び問い合わせの件数は常に一定数あり、今後も順調に推移していくと思われる。
事業の今後について	今後は、補助金対象者の見直し等について検討し、より効率的な事業実施を行うことで、更なる定住促進を図る必要がある。

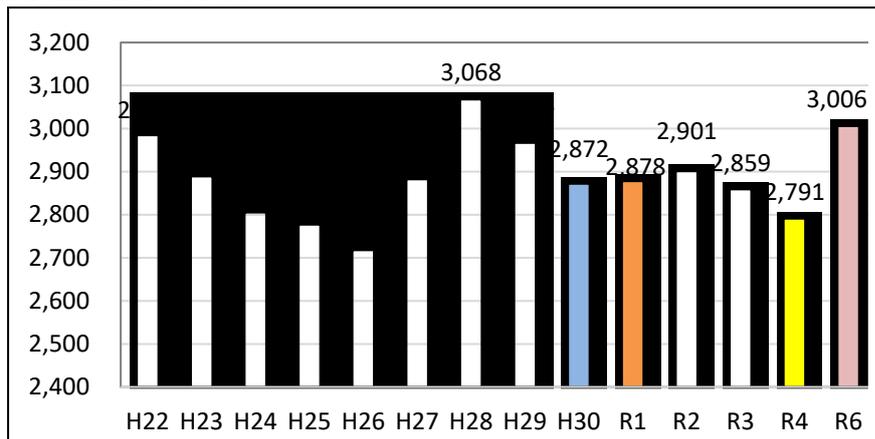
#### ●目標達成の見通し及び今後の対策

特に地域優良賃貸住宅（高齢者型）供給促進事業については、令和 4 年度末時点での入居戸数は、ほぼ満室を維持しており、定住人口に大きく寄与している。引き続き、同事業を実施し、目標達成に向けて取り組んでいく。

#### 4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「【参考指標】中心市街地における定住人口（人）」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 68～P. 69 参照

## ●調査結果と分析



年	(単位)
H30	2,872 (基準年値)
R1	2,878
R2	2,901
R3	2,859
R4	2,791
R6	3,006 (目標値)

- ※調査方法： 住民基本台帳
- ※調査月： 毎年度3月末日
- ※調査主体： 石巻市
- ※調査対象： 中心市街地に居住する人数

### 〈分析内容〉

減少傾向の要因として社会増を上回る自然減が挙げられ、一部事業の遅れにより、社会増の効果が見えにくい状況である。今後ますますの高齢化の進展により、自然減が更に増加することが想定されることから、住宅供給事業を早期に進めていく必要がある。

## ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

### ①. 優良建築物等整備事業（立町二丁目4番地区）

事業実施期間	平成29年度～令和4年度【実施中】 [認定基本計画：平成29年度～令和4年度]
事業概要	まちなか居住の促進や被災者への早期住宅供給とともに、被災店舗の再生を図ることを目的に、店舗及び分譲住宅を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	復興交付金（優良建築物等整備事業・基幹事業）（国土交通省）（令和2年度～令和3年度） [認定基本計画：復興交付金（優良建築物等整備事業・基幹事業）（国土交通省）（令和2年度～令和3年度）]
事業目標値・最新値及び進捗状況	[事業目標値] 4戸（賃貸住宅整備予定） [最新値] 21戸 [進捗状況] 復興交付金を活用し基本設計、実施設計を完了。
事業の今後について	民間が主体となり、計画を見直し中。

### ②. 優良建築物等整備事業（立町一丁目3番地区（B地区））

事業実施期間	平成29年度～令和4年度【実施中】
--------	-------------------

	[認定基本計画：平成29年度～令和4年度]
事業概要	まちなか居住の促進や被災者への早期住宅供給とともに、被災店舗の再生を図ることを目的に、店舗及び分譲住宅を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	復興交付金（優良建築物等整備事業・基幹事業）（国土交通省）（令和2年度～令和3年度） [認定基本計画：復興交付金（優良建築物等整備事業・基幹事業）（国土交通省）（令和2年度～令和3年度）]
事業目標値・最新値及び進捗状況	[事業目標値] 70戸（サービス付き高齢者住宅整備予定） [最新値] 60戸 [進捗状況] 復興交付金を活用し基本設計、実施設計、補償を完了。
事業の今後について	民間が主体となり、計画を見直し中。

③. 優良建築物等整備事業（立町一丁目5番地区（A1地区））

事業実施期間	平成30年度～令和4年度【実施中】 [認定基本計画：平成30年度～令和4年度]
事業概要	空き地の解消を図り、土地の合理的な高度利用による市街地環境の改善等に寄与することを目的に、商業施設や賃貸住宅、温浴施設等を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	復興交付金（優良建築物等整備事業・基幹事業）（国土交通省）（令和2年度～令和3年度） [認定基本計画：復興交付金（優良建築物等整備事業・基幹事業）（国土交通省）（令和2年度～令和3年度）]
事業目標値・最新値及び進捗状況	[事業目標値] 4戸（賃貸住宅整備予定） [最新値] 30戸 [進捗状況] 復興交付金を活用し基本設計、実施設計を完了。
事業の今後について	民間が主体となり、計画を見直し中。

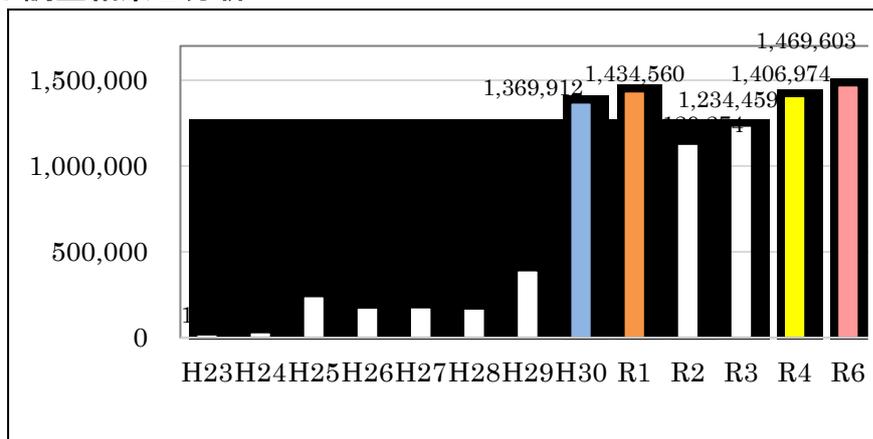
●目標達成の見通し及び今後の対策

優良建築物等整備事業については、資金計画等の事業計画に見直しを要し、令和5年度以降の事業継続手法等について、民間が主体となり計画を見直し中である。

現状、自然減が社会増減を上回る傾向が続いており、目標達成に向けて事業の進展が必須である。

(1) 「2施設の利用者数（人／年）」※目標設定の考え方認定基本計画 P.70～P.72 参照

## ●調査結果と分析



年	(単位)
H30	1,369,912 (基準年値)
R1	1,434,560
R2	1,129,274
R3	1,234,459
R4	1,406,974
R6	1,469,603 (目標値)

※調査方法：施設の利用者数の集計

※調査月：毎年度12月末

※調査主体：石巻市（石ノ森萬画館、いしのまき元気いちば）

※調査対象：石ノ森萬画館入場者数、いしのまき元気いちば利用者数

### 〈分析内容〉

新型コロナウイルス感染症の影響が一巡し、令和元年水準の利用者数となり、目標達成が十分近づいている状況である。なお、年度の集計では目標を達成（1,481,234人）しており、今後も交流人口の増加に向けて様々なイベントを企画していくことが必要である。

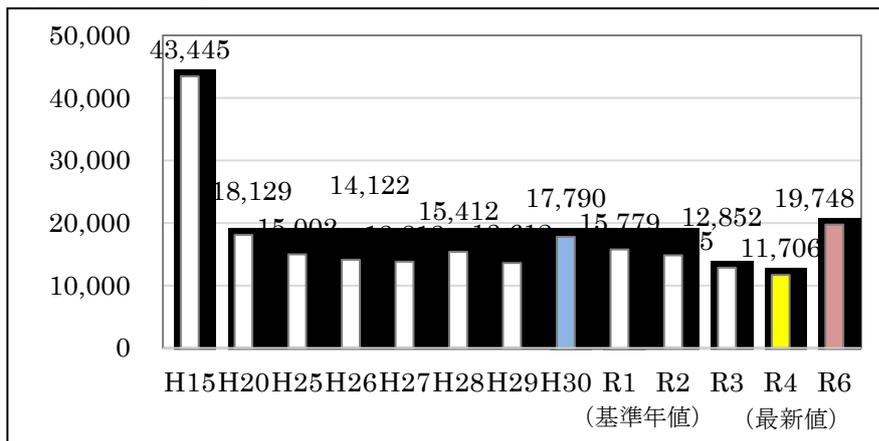
## ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

### ①. 石ノ森萬画館実施事業（市）

事業実施期間	平成13年度～【実施中】 [認定基本計画：平成13年度～]
事業概要	石ノ森萬画館にて、「マンガの街いしのまき」を体感してもらおうきっかけづくりとして各種事業を開催する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置活用なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	[目標値] 218,917人 [最新値] 132,217人 [事業効果] 企画展やイベント等の開催により、中心市街地を回遊する人数に感染症拡大の影響からの回復の兆しが見え、目標未達成ながらも一定の賑わいをもたらす効果を発揮した。 [進捗状況] 感染症流行前の入込数水準までは回復していないが、感染症対策に留意しながら、中心市街地の周遊を促進するイベントも開催し、施設の観覧者数の回復に努めている

事業の今後について	新感染症拡大の影響による入込数の落ち込みから回復が鈍いが、地域活性化の拠点の一つとして、引き続き感染症対策を行いながら中心市街地の賑わいを創出する事業を模索する。
② . いしのまき元気いちば運営・石巻食発信事業	
事業実施期間	平成29年度～【実施中】 [認定基本計画：平成 29 年度～]
事業概要	本市の中心市街地の拠点エリアに立地する商業施設「いしのまき元気いちば」を運営し、「食のエンターテイメント」をコンセプトに、石巻地域の地場産品を紹介し、それらを用いたイベントなど消費者が楽しめ、面白いと感じられるような企画を実施。
国の支援措置名及び支援期間	なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	[事業効果] 令和4年は、1, 274, 757人の来場があった。 [進捗状況] 宮城県水産加工品品評会の受賞商品を中心とした販売会「今年のうまい！を先取り物産市～水産加工品品評会受賞商品特集～」を開催。石巻市内の加工業者さんの商品を中心に販売し各社の商品 PR および当店を中心とした中心市街地への集客につながった。
事業の今後について	かわまちエリアの完成にともない、来店されたお客様が石巻のかわまちエリアを堪能しながら食材を「見る、食べる」ことができるような機会をさらに楽しめるイベント企画を徐々に増やしていき、かわまちエリアから人の流れを創出していく。
<p><b>●目標達成の見通し及び今後の対策</b></p> <p>事業については、概ね順調に進んでいることから目標は達成する見通しである。</p> <p>また、例年に引き続き「石巻マンガロード整備活用事業」において、石巻マンガロード内に設置されているマンガモニュメントの修繕等を行い、石巻駅から石ノ森萬画館への道のりを楽しんで歩いてもらえるよう、中心市街地の魅力を高める施策を行っていく。</p> <p><b>(1)「歩行者・自転車通行量」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 73～P. 76 参照</b></p>	

●調査結果と分析



年	(単位)
H30	17,790 (基準年値)
R1	15,779
R2	14,835
R3	12,852
R4	11,706
R6	19,748 (目標値)

※調査方法：石巻市中心市街地通行量調査

※調査月：平成15年10～11月、平成20年5月、平成25年11月、平成27年3月、平成27年11月、平成28年5月、平成29年11月、平成30年10月、令和元年10月、令和2年10月、令和3年10月、令和4年10月

※調査主体：石巻市

※調査対象：平日・休日の中心市街地内12地点（①中央一大通り、②アイトピア大町、③アイトピア中央銀座、④橋通り、⑤寿町みなみどおり、⑥ことぶき町ポケットパーク、⑦ことぶき町、⑧立町大通り東側、⑨立町大通り西側、⑩駅前大通り、⑪市役所おまさか通り、⑫穀町大通り）における歩行者と自転車通行量の合算値。



(単位：人)

	令和元年度 (計画前年度)	令和2年度 (1年目)	令和3年度 (2年目)	令和4年度 (3年目)	令和5年度 (4年目)	令和6年度 (5年目)
地点①	666	804	816	728		
地点②	942	1,058	654	778		
地点③	1,431	1,235	912	993		
地点④	1,638	1,725	1,621	387		
地点⑤	760	678	606	794		
地点⑥	602	556	402	352		
地点⑦	1,264	1,182	754	658		
地点⑧	1,894	1,997	1,676	1,894		
地点⑨	2,071	2,246	1,669	1,838		

地点⑩	2,031	1,493	1,172	1,349		
地点⑪	1,004	420	828	710		
地点⑫	1,476	1,441	1,742	1,225		
合計	15,779	14,835	12,852	11,706		

### 〈分析内容〉

歩行者・自転車通行量については、平日・休日に1日ずつ行っており、上記表の12地点については、主要地点の計を記載している。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響の強かった令和3年度に比して更に減少する結果となった。特に地点④及び地点⑫で大きく減少した。要因として、地点④については、かわまち交流広場工事の影響による動線変更が影響し、地点⑫についてはワクチン接種による増加の効果が剥落したものと推測される。全体的に歩行者数が減少していることから、歩行者・自転車通行量の目標達成には、集客力のある川沿いエリアから立町エリアや駅前エリアにいかにか人の流れを作っていくかが課題となっている。

### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

#### ①. 石ノ森萬画館実施事業（市）

事業実施期間	平成13年度～【実施中】 [認定基本計画：平成13年度～]
事業概要	石ノ森萬画館にて、「マンガの街いしのまき」を体感してもらうきっかけづくりとして各種事業を開催する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置活用なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	[目標値] 261人の増加 [事業効果] 施設の入込数自体は前年度から47,563人の増となり、中心市街地の歩行者・自転車通行量への直接の影響は算定できないものの、市街地周遊イベント等も企画していたことから、一定程度、街歩き者増加に寄与したと想定される。 [進捗状況] 感染症拡大の状況を見ながら、感染症対策に留意しつつ徐々に中心市街地の周遊を促す企画を実施しており、石ノ森萬画館を中心としながら街歩き促進に努めている。
事業の今後について	石ノ森萬画館で行われるイベントと併せ、街歩きを促進するゲームアプリ「石巻市地方創生RPG」も活用しながら、中心市街地に感染症拡大前の賑わいを戻すよう努めていく。

#### ②. かわまちエリアマネジメント事業

事業実施期間	令和元年度～【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～]
事業概要	都市再生推進法人の指定を受けた民間事業者が、関係事業者とともに堤防一体空間を始めとしたかわまちエリアの管理体制を構築し、日常的な賑わいと憩いの場としての活用を図る。
国の支援措置名及び支援期間	民間まちづくり活動促進・普及啓発事業（国土交通省）（令和3年度） [認定基本計画：民間まちづくり活動促進・普及啓発事業（国土交通省））（令和3年度）]
事業目標値・最新値及び進捗状況	[目標値] 中心市街地歩行者通行量19,784人（令和6年度） [最新値] 中心市街地歩行者通行量11,706人（令和4年度） [事業効果] 旧北上川堤防一体空間において、令和4年4月から令和5年3月まで計23回のイベントが開催され、およそ7,500人の方が訪れた。 [進捗状況] 年間を通して市民の参画を得て多様なイベントが開催されたほか、キッチンカーによる出店による賑わい創出が図られた。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、堤防一体空間や中心市街地を訪れる人の落ち込みが激しく、中心市街地歩行者通行量の増加につなげることはできなかった。
事業の今後について	令和5年3月に完成したかわまち交流広場との連携を図ながら、市民主体によるイベントの開催によって賑わいを創出していく。かわまちエリアマネジメント検討会にて取りまとめた「石巻かわまちエリア未来ビジョン～川沿いエリア編～」に基づき、都市再生推進法人やかわまち交流拠点エリア内の事業者とともに、ウォーカブルな空間づくりに向けた取り組みを実施していくことで、中心市街地歩行者通行量の増加につなげていく。

### ●目標達成の見通し及び今後の対策

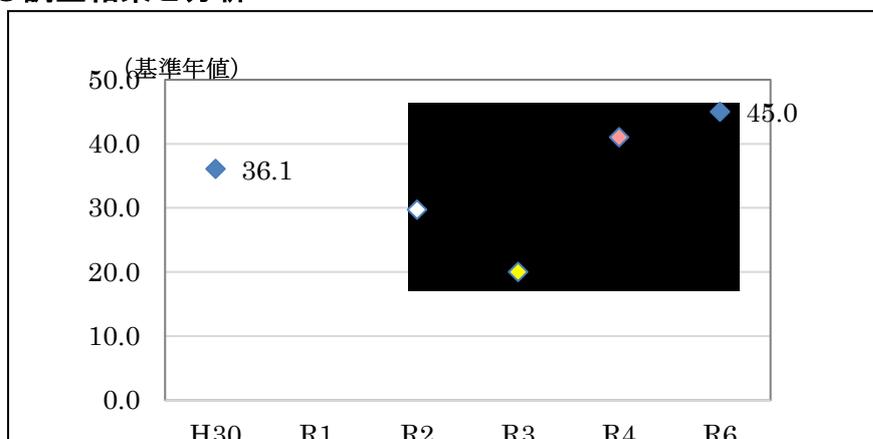
令和4年度の歩行者・自転車通行量調査については、調査開始以来最低の11,706人であったが、関連事業の進捗については「かわまち交流広場」の完成など、概ね順調に進んでおり、目標は十分達成可能と見込んでいる。

目標達成のため、かわまちエリアマネジメント事業の取組を更に推進し、市民主体によるイベントの開催によって賑わいを創出していく。

#### 4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1) 「【参考指標】中心市街地回遊率 (%)」※目標設定の考え方認定基本計画 P.77 参照

##### ●調査結果と分析



年	(単位)
H30	36.1 (基準年値)
R1	—
R2	29.7
R3	20.0
R4	41.0
R6	45.0 (目標値)

※調査方法： アンケート調査

※調査月： 毎年8月頃

※調査主体： 東北学院大学 建築デザイン研究室

※調査対象： 川沿いエリア（元いちば前）への集客を中心とした観光客

※令和元年度は、実施せず。

##### 〈分析内容〉

令和4年度は数値が大きく向上し、目標値に近い水準となった。空き地空き店舗活用事業等による新規出店の効果が表れている可能性があるが、引き続き、立町エリアや駅前エリアにおけるイベント等を行うなど、目標達成に向けて取り組んでいく。

##### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

###### ①. マンガを活かした石巻の情報発信と街並みづくり事業

事業実施期間	平成13年度～【実施中】 [認定基本計画：平成13年度～]
事業概要	持続的な発展に資する再生加速化計画（アクションプラン）に基づき、マンガを活かした情報発信、地域魅力創出、街並みづくり等を、地元商店街関係者ととともに実施することで、商店街の活性化を図る。
国の支援措置名及び支援期間	宮城県商店街再生加速化支援事業費補助金（宮城県）（令和2年度） [認定基本計画] 宮城県商店街再生加速化支援事業費補助金（宮城県）（令和2年度）

事業目標値・最新値 及び進捗状況	<p>[目標値] 中心市街地回遊率45%（令和6年度）</p> <p>[最新値] 中心市街地回遊率41%（令和4年度）</p> <p>[事業効果] 本事業では、主に石巻マンガロードサイトの管理運営を行った。観光ポータルサイトとして令和4年4月から令和5年3月までの1年間で前年度より減少し9万ページビューとなった（令和3年度は17万ページビュー）。昨年度は市内で開催された企画展の特設ページを設けたことがビュー数の向上につながったと考えられる。コロナ禍で石巻を訪れることができない方々に情報を届けることで、収束後の来訪へつなげようとした。</p> <p>[進捗状況] 中心市街地の店舗やイベントの紹介をサイト内で記事として掲載したが、新型コロナウイルス感染症の拡大が落ち着いたこともあり、回遊率は大きく向上した。</p>
事業の今後について	<p>引き続き、中心市街地を中心に市内で開催されるイベント情報や観光スポットを掲載し、石巻を訪れたいと思ってもらえるための情報発信や、実際に石巻を訪れた方がより長く滞在していただけるための店舗・施設紹介を行っていく。</p> <p>また、地元商店街関係者と共に商店街のビジョンについて検討する場を設けていく。</p>

②. 石巻マンガロード整備活用事業

事業実施期間	<p>平成13年度～【実施中】</p> <p>[認定基本計画：平成13年度～]</p>
事業概要	<p>石巻駅前、石ノ森萬画館、市役所等の中核施設を結ぶ商店街通りを「石巻マンガロード」として位置づけモニュメント等を整備してきた。今後も中心市街地の魅力創出のためマンガモニュメントの追加設置やウェブサイトの運用を中心とした情報発信を行う。</p>
国の支援措置名及び 支援期間	<p>中心市街地活性化ソフト事業（総務省）令和2年4月～令和7年3月</p> <p>[認定基本計画] 中心市街地活性化ソフト事業（総務省）令和2年4月～令和7年3月</p>
事業目標値・最新値 及び進捗状況	<p>[事業効果] 石巻マンガロード（マンガモニュメント）の魅力を発信するため、ハード事業やソフト事業を実施し、マンガロードを周遊してもらうことで、中心市街地の賑わいに寄与する。</p> <p>[進捗状況]</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度は、石巻駅前に設置しているサイボーグ003の修繕を行った。</li> <li>・「石巻マンガロード」のウェブサイトを活用し、中心市街地で活動する団体の特集記事や街なかでのイベント情報の発信を行っている。</li> </ul>
事業の今後について	J R 石巻駅から石ノ森萬画館まで続く石巻マンガロードに設置してあるモニュメント等を設置・管理することによって、街なかを歩く楽しさや石ノ森萬画館との相乗効果を図り中心市街地の賑わいと回遊性を高めていく。

### ③. 街なかイベント開催助成金

事業実施期間	令和3年度～【実施中】 [認定基本計画：令和3年度～]
事業概要	中心市街地における活発なイベントの開催を支援し交流人口の拡大を図るため、石巻市中心市街地活性化協議会が実施している「賑わい創出補助金」に対して助成を行う。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）令和3年4月～令和7年3月 [認定基本計画：中心市街地活性化ソフト事業（総務省）令和3年4月～令和7年3月]
事業目標値・最新値及び進捗状況	[事業効果] 中心市街地におけるイベントを3件開催することができ、人中心市街地の賑わいに寄与することができた。 [進捗状況] イベント回数こそ少なかったものの、多くの人々がイベントに訪れた。
事業の今後について	令和5年度についても実施を予定しており、石巻市中心市街地活性化協議会と連携し、中心市街地の賑わい創出に努めていく。

### ④. 石巻マンガロード新名物創出事業

事業実施期間	令和3年度～【実施中】 [認定基本計画：令和3年度～]
事業概要	街なかの店舗一軒一軒に、石巻マンガロードの新たな名物になるような石ノ森作品にちなんだ商品が生まれることを目標に、商品開発費、キャラクター利用の著作権費、広報宣伝費等を助成。また、実施事業者の発掘や著作権に係る交渉などの商品開発に係るサポート業務を実施。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）令和3年4月～令和7年3月 [認定基本計画：中心市街地活性化ソフト事業（総務省）令和3年4月～令和7年3月]

事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>[事業効果]</p> <p>石巻へ訪れお土産を購入していただくだけでなく、石巻から他県へ贈答品を送る人をもターゲットとし、魅力発信及び認知度を図ることができる。</p> <p>[進捗状況]</p> <p>令和4年度については、1件の石巻マンガロード新名物を創出した。また、補助金の活用にいたらなかったものの、相談がきっかけとなって、新商品開発が行われるケースもあった。</p>
事業の今後について	<p>石ノ森作品とつながりのある漫画家や石巻出身、石巻在住のアーティストが新名物事業へ参入することにより、次世代の担い手だけでなく「萬画のまち・石巻」を発信していく機会となるよう事業を行っていききたい。</p>

⑤ . 街なか集客販促イベント共同化事業

事業実施期間	<p>平成26年度～【実施中】</p> <p>[認定基本計画：平成26年度～]</p>
事業概要	<p>中心市街地への集客と販促につなげるため、商店、飲食店、まちづくり会社等が連携し、イベント等を企画、実施する。</p>
国の支援措置名及び支援期間	なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>[目標値]</p> <p>中心市街地の回遊率45%（令和6年度）</p> <p>[最新値]</p> <p>中心市街地の回遊率41%（令和4年度） （令和3年度は20%）</p> <p>[進捗状況]</p> <p>がんばろう商店街事業として、令和4年12月15日から25日まで謎解きラリーと金華開運商店街スタンプラリーを開催した。また、昨年度に引き続き、令和5年1月14日から2月12日まで「石巻まちゼミ」を開催し、商店街の店舗を中心に19店舗が参加し26講座を開講した。新型コロナウイルス感染症の拡大状況に落ち着きがみられたことから、回遊率は大きく向上した。</p>
事業の今後について	<p>新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、商店街での集客企画を積極的に実施していくことで、中心市街地のさらなる回遊性向上につなげる。</p>

●目標達成の見通し及び今後の対策

令和4年度かわまち交流拠点整備事業が完工となり、川沿いエリアの更なる交流人口の拡大が図られ、中心市街地の活性化に大きく寄与する拠点として、賑わいを創出が見込

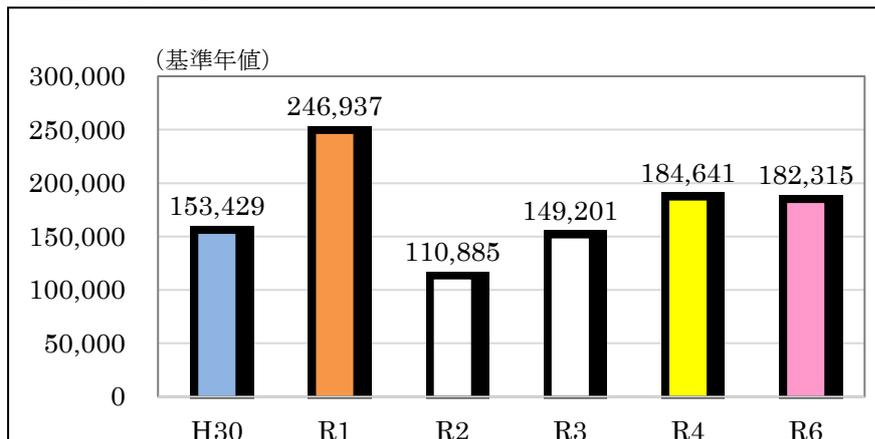
まれることから、目標達成の見通しである。

また、石ノ森萬画館やいしのまき元気いちばのある川沿いエリアについては、通行量が増加傾向にある中、立町・中央エリアにある商店街へ観光客をどう誘導していくのが課題であり、「街なかイベント開催助成金」や「石巻マンガロード新名物創出事業」等のソフト事業を通じて、中心市街地の活性化を引き続き図っていく。

#### 4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「市民交流施設4施設の利用者数(人/年)」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 78～P. 79 参照

##### ●調査結果と分析



年	(単位)
H30	153,429 (基準年値)
R1	246,937
R2	110,885
R3	149,201
R4	184,641
R6	182,315 (目標値)

※調査方法：施設の利用者数の集計

※調査月：毎年度3月末

※調査主体：石巻市

※調査対象：石巻あいプラザの利用者数、旧観慶丸商店の利用者数、かわまち交流センターの利用者数、アイトピアホールの利用者数

##### 〈分析内容〉

令和4年度については、石巻あいプラザの利用者数が70,061人、旧観慶丸商店の利用者数10,361人、かわまち交流センターの利用者数101,838人、アイトピアホールの利用者数が2,381人という結果となっており、中心市街地の交流人口拡大が着実に図られていることが読み取れる。また、石巻あいプラザは新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、更に利用者回復が見込まれるため、目標達成に向けて順調な推移となっている。

##### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 石巻市かわまち交流拠点施設管理運営事業(市(指定管理者))

事業実施期間	平成30年度～【実施中】 [認定基本計画：平成30年度～]
事業概要	石巻市かわまち交流センター、石巻市かわまち立体駐車場、石巻市かわまちバス駐車場、石巻市かわまち交通広場を指定管理により運営し、観光ハブ機能を有し、市民や観光客が気軽に利用できるスペースとして、サロン・ミーテ

	ィングスペース・キッチン等の利用開放や、観光情報案内、イベントの開催等を行う。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和2年4月～令和7年） [認定基本計画] 中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和2年4月～令和7年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	[事業効果] 観光情報発信機能、中心市街地のにぎわい創出のためのイベント企画実施、地場製品の販売促進支援により、市民や観光客、交流人口の増加や賑わいの創出を行っていく。 [進捗状況] ・ねこふえす展示 ・i 感謝博イベント 等
事業の今後について	今後もかわまち交流拠点内の核となる観光交流施設として、市内エリアの観光スポットを有機的に繋ぐハブ機能を有した観光情報発信拠点として、積極的に情報発信を行い、誘客に取り組んでいくとともに、隣接する元気いちばと連携し、地場製品の普及に努める。

②. 石巻健康センター あいプラザ・石巻活用事業

事業実施期間	平成21年度～【実施中】 [認定基本計画：平成21年度～]
事業概要	健康・福祉の拠点施設として各種講座の展開や、プールやジム等の施設提供を行うことで、地域住民の健康づくりを推進する。
国の支援措置名及び支援期間	なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	[事業効果] 本施設が健康づくりの中核的拠点となり各種講座の実施や施設提供を行うことで、賑わいの創出が期待できる。 [進捗状況] 利用者数は令和3年度と比較すると横ばいであり、コロナ禍以前の水準には回復していない。
事業の今後について	地域住民にとって、本施設がコミュニティー活動の場となるよう、利用者等の要望や意見を取り入れながら、各種講座及び利用者満足度の高いイベント等を実施し、集客及びにぎわいの創出を図る。

③. まちなかコミュニティホール活用事業（旧生協）

事業実施期間	平成29年度～【実施中】 [認定基本計画：平成29年度～]
事業概要	旧みやぎ生協アイトピア店を改修し、みやぎ生協と街づく

	りまんぼう等の連携のもと、各種イベントや講演会、勉強会等を開催し、市民が集えるまちなかのホールとして活用する。
国の支援措置名及び支援期間	なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>[目標値] 10,794人</p> <p>[最新値] 2,381人</p> <p>[進捗状況] 令和4年4月から令和5年3月までで2,381人の利用があった。新型コロナウイルス感染症の落ち着きが見られたことで、徐々に利用者が回復しつつある。</p>
事業の今後について	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、交流イベントなどの受入を増やしていく。

④. 旧観慶丸商店保存活用事業

事業実施期間	平成30年度～令和4年度【実施中】 [認定基本計画：平成30年～令和4年度]
事業概要	市指定文化財である歴史的建造物の保存を図りつつ、中心市街地における歴史・芸術・文化発信拠点として、拠点となる施設の運営及びイベントを開催する。
国の支援措置名及び支援期間	なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>[[事業目標値] 11,714人(平成30年度)</p> <p>・年間入館者数 令和元年度 19,226人 令和2年度 4,787人 令和3年度 12,957人 令和4年度 10,361人</p> <p>・一日平均入館者数 <u>3.5人</u></p> <p>[事業効果] 昨年は、新型コロナウイルス感染症予防の影響を受けつつも、大型イベントの開催などにより、事業目標値を達成することができた。しかし、令和4年度については、若干目標値に届かない結果となった。</p> <p>[進捗状況] 令和4年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸館利用団体数 26件</li> <li>・利用延べ日数 119日</li> <li>・開館日数 298日</li> </ul>
事業の今後について	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、展示企画や

	イベントなどを実施していくとともに、利用者が利用しやすい施設を目指していく。
--	--

⑤. 街なか文化・芸術活動活性化助成金

事業実施期間	令和3度～【実施中】 [認定基本計画：令和3年度～]
事業概要	中心市街地において、文化活動や芸術活動を行う団体に対し、活動費用の助成を行うことにより、中心市街地の文化や芸術活動の拠点としての機能強化を図る。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和2年4月～令和7年） [認定基本計画] 中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和2年4月～令和7年）
事業目標値・最新値及び進捗状況	[事業効果] 中心市街地において、文化活動や芸術活動を行う団体に対し、活動費用の助成を行なうことにより、市民活動参加者数の増加に繋がる。 [進捗状況] 令和4年度 申請団体 8団体 助成額 799,000円
事業の今後について	令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症対策のための類似の助成金があったことから、活用実績は低いものとなっている。 しかし、「イベント開催事業支援金」制度は新型コロナ対策支援の一環であることから、短期の支援になることが予想されるため、芸術文化活動に対する継続的な支援として本事業を実施していく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

新型コロナウイルス感染症の拡大に落ち着きが見られたことで、各施設において、利用者数は堅調な推移となり、特にかわまち交流センターの利用者数が大きく伸びたことで目標を達成することができた。今後、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、各種イベント等を開催しやすくなることから、最終的にも目標を達成する見通しである。